

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わたしはふしぎでたまらない	2	よい姿勢や用具の持ち方で、配列よく詩を書くことができる。	【B】小学校で学習した姿勢・執筆や筆使い、字形の整え方などを理解している。字間・行間を理解して、行が曲がらないように書いている。 【A】姿勢・執筆や筆使い、字形の整え方などを的確に捉えている。字間・行間を理解して、行が曲がらないように字形を整えて書いている。	【B】小学校で学習した内容を確認している。 【A】小学校で学習した内容を確認し、自己の課題を捉えている。	【B】詩を書く学習をとおして、書写活動に意欲的に取り組んでいる。 【A】詩を書く学習をとおして、書写学習に課題意識をもって、意欲的に取り組んでいる。
ふしぎ 桜蝶	4	●文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている	すすんで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
お気に入りの一品を紹介する	4	●伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	日常生活の中からお気に入りの一品について話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	すすんで日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して伝える内容を検討し、学習課題にそって伝え合おうとしている。
言葉の単位	1	文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。	単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている		積極的に言葉の単位について理解するとともに、見通しをもってその役割を考えようとしている。

自分の脳を知っていますか	4	●文章の中心的部分に着目し、内容を捉える。 ●文章の構成を捉え、要約に生かす。 ●「脳の奇妙な癖」を理解し、筆者の考えをまとめる	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している	「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。	「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。
筆使い ―基本点画―	2	小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、確認することができる。	【B】 基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。 【A】 基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉えている。	【B】 基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。 【A】 基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉えている。	【B】 楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を確認している。 【A】 基本点画の筆使いや組み立て方が、漢字のどの部分にあてはまるか判断している。
日本語の音声	2	日本語の音の特徴を理解する。	音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。		積極的に音声のはたらきや仕組みを理解し、学習の見通しをもって日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。
ベンチ	2	本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。
内容を整理して説明する	4	●写真を見るときの観点を知り、写真の特徴を理解する。 ●写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	粘り強く情報の整理の仕方についての理解を深めるとともに、学習課題にそって創作しようとしている。
資料から得た情報をもとに意見文を書く	4	●資料を比較して共通点と相違点を見つける。 ●考えの中心を明確にして、段落構成を考える	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	書く内容の中心が明確になるように複数の資料を比較するとともに、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	すすんで情報の整理の仕方について理解し、学習課題にそって共通点や相違点を根拠にしながら考えたことを書こうとしている。

筆使いと字形「天地」	2	小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、字形に注意して書くことができる。	基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉えている。基本点画の筆使いや組み立て方を理解して、字形を整えて書いている。	楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を確認している。	基本点画を把握し、その解決に向け意欲的に取り組んでいる。
漢字の広場	3	画数と活字の字体についての理解を深める。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている	積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。	積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
材料を整理して案内文を書く	2	●集めた材料を分類・整理して、伝えたいことを明確にする。 ●目的や意図を意識して、案内文を書く。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	すすんで集めた情報を整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。
持続可能な未来を創るために	3	持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、今までの学習を生かして本や資料をもとに考えを深めようとしている。
手紙を書く	4	手紙の基本的な書き方を理解し、文字の大きさや配列に注意して書くことができる。	手紙の書式と、文字の大きさや配列を把握し、調和よく書くことを理解している。手紙の書式に従って、文字の大きさや配列を理解して、字形を整えて書いている。	用紙の形や書式を考えて、文字の大きさや配列を適切に捉えている。	日常生活で書かれる身近な文章について、形式を整えて書こうとしている。

全ては編集されている	1	●写真を見るとき視点を知り、写真の特徴を理解する。 ●写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	情報の扱い方についての理解を深め、目的に応じて適切に情報を読み取り、伝えたい情報を明確に表現しようとしている。
森には魔法つかいがある	4	●必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。 ●問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。 ●筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	文章の構成や展開、表現の効果(特に論理の構成)について、根拠を明確にして考えている。	粘り強く文章の論理の展開について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことをまとめようとしている。
文法の小窓	3	●主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。	文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。		すすんで文の構成に興味・関心を抱き、文の成分の種類とはたらきを理解して、文の構成について理解を深めようとしている。
漢字の広場3	1	●漢字の音と訓についての理解を深める。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
根拠を明確にして意見文を書く	4	●意見と根拠の関係を理解する。 ●根拠をはっきりさせて、意見文を書く。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	すすんで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。
学習を生かして書く —行書の特徴—	2	残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを理解することができる。	【】残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かをよく理解している。	残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを的確に捉えている。	残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを意欲的に知ろうとしている。

広告の情報を考える	2	広告を見るとき視点を知り、広告の特徴について理解する。 ●目的に応じて言葉と画像を組み合わせ、広告を作る。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべき事を整理して書こうとしている。
昔話と古典	1	古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。	音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。
物語の始まり	4	●古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。 ●『竹取物語』について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。
故事成語	3	●いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 ●漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	すすんで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
点画の連続と変化 2「栄光」	2	点画の連続を理解して書くことができる。	点画の連続の仕方を的確に捉えている。点画の連続の仕方を理解して、字形を整えて書いている。	点画の連続の筆使いから自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
蜘蛛の糸	4	わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	すすんで読書が考えを広げることに関与することを理解し、今までの学習を生かして小説を読んで考えたことを記録しようとしている。	すすんで読書が考えを広げることに関与することを理解し、今までの学習を生かして小説を読んで考えたことを記録しようとしている。
河童と蛙	2	場面と描写を結びつけて読む。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	すすんで表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。	すすんで表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。

オツベルと象	8	●語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ●場面と描写に着目して作品を読み、内容を解釈する。 ●作品の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える。	音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。	粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、小説を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
点画の省略「平和」	2	点画の省略を理解して書くことができる。	点画の省略の仕方を的確に捉えている。点画の省略の仕方を理解して、字形を整えて書いている。	点画の省略の筆使いから自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
随筆を書く	5	身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。	粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
日本語の文字	1	日本語を書き表す文字の特徴を理解する。	仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。	積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
子どもの権利	4	●専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 ●論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。 ●自分の経験と関連づけて読み、自分の考えをまとめる。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。	粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。

◇書き初めを書く	5	○文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。 ○行書の特徴や配列を理解して書くことができる。	筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して、調和よく書くことを把握している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して、配列を整えて書いている。 行書の特徴や配列についてよく理解している。行書の特徴や行の中心を理解して、字形を整えて配列よく書いている。	紙面に対する楷書と仮名の調和のさせ方を考えている。	自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。 自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。
調べた内容を聞く	4	●自分の考えと比較し、その共通点や相違点を踏まえて、考えをまとめる。 ●相手の話を聞いて記録したり、質問したりしながら内容を捉える。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	積極的に共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ、学習の見通しをもって報告を聞いて質問しようとしている。
漢字の広場4	1	熟語の構成の基本的な型を知る。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
言葉がつなぐ世界遺産／地域から世界へ	6	●事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。 ●筆者の考えについて、自分の考えをまとめ、理解を確かにする。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。	すすんで理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。
漫画で「物語」を表現する	2	●漫画の表現の特徴について理解する。 ●漫画の中の絵と言葉との関係を捉え、読み手に対する効果を考える。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。	積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書こうとしている。

読み手を意識して 報告文を整える	4	●要点を簡潔にまとめる。 ●読み手の立場に立って、文章を整える。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。	積極的に読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。
文法の小窓 単語のいろいろ	3	自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する	単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。		すすんで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。
発言を結びつけて 話し合う	4	●話題を意識して話し合い、発言を結びつける。 ●いろいろな意見を整理し、自分たちの感想や考えをまとめる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。	すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。
四季の詩	5	それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ【思考・判断・表現】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。	すすんで描写をもとに捉えるとともに、今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。
少年の日の思い出	8	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意する。 ●場面の展開や登場人物の心情の変化を、描写に基づきながら捉える。 ●語り手に着目して作品を読み、意見を交流するなどして、自分の考えを確かめる。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、学習の見通しをもって小説を読んで考えたことを記録しようとしている。

方言と共通語	1	方言と共通語の特徴について知る。	共通語と方言の果たす役割について理解している。		すすんで共通語と方言について調べ、学習の見通しをもって共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
--------	---	------------------	-------------------------	--	--

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
虹の足	1	●見えている「虹の足」をとおして、見えていない「虹の足」について考える。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	すすんで登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。
質問する力をつける	1	●伝え合う内容を検討して、よりよい質問をする。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
タオル	5	●文学的な表現を通じて語感を磨き、語彙を豊かにする。 ●登場人物の設定の仕方や言動の意味などについて考え、作品を解釈する。 ●少年の気持ちの変化を捉え、表現の効果を考える。 ●文学的な表現を通じて語感を磨き、語彙を豊かにする。 ●登場人物の設定の仕方や言動の意味などについて考え、作品を解釈する。 ●少年の気持ちの変化を捉え、表現の効果を考える。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。
文法の小窓1 活用のない自立語 文法(解説)1 活用のない自立語	2	●活用のない自立語のはたらきを理解する。	単語の活用について理解を深めている。		積極的に活用のない自立語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

新聞の投書を書く	5	●多様な方法で材料を集める。 ●社会生活の中から題材を選んで書く。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
漢字の広場1 まちがえやすい漢字	1	●似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
日本の花火の楽しみ	3	●図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ●説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ●花火の魅力について、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、筆者の説明の仕方について、その関係を踏まえて内容を解釈している。「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	粘り強く必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
行書と仮名を調和させて書いてみよう 「喜びの声」	1	●行書と仮名の調和「喜びの声」 - 点画の連続と配列を理解して書くことができる。	行書と仮名の調和を理解している。行書と仮名の調和について確かめながら書いている。行書と仮名の調和や配列の整え方を理解している。行書と仮名の調和を理解し、行書の筆使いを生かして書いている。	紙面全体の調和を考えて、点画の連続と配列を考えている。紙面全体の調和を考えて、点画の連続と配列を意識している。	行書と仮名の調和について、自己の課題を見つけようとしている。行書と仮名の調和における課題解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。
水の山 富士山	4	●図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ●説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ●富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている	「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、筆者の説明の仕方について、その関係を踏まえて内容を解釈している。「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	粘り強く情報の整理の仕方についての理解を深めるとともに、学習課題にそって創作しようとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

説得力のある提案をする	3	●話の構成を効果的に組み立てて話す。 ●根拠の適切さに注意しながら、意見と根拠を分けて話す。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している	「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している	積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって考えを述べようとしている。
言葉の小窓1 敬語 言葉(解説)1 敬語	1	●敬語のはたらきや特徴について知る。	敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。		粘り強く敬語のはたらきや特徴について理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている
構成を明確にして手紙を書く	5	●相手に対して適切に言葉を選ぶ。 ●書く内容を整理し、自分の考えをまとめる。	話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 敬語のはたらきについて理解し、文章の中で使っている。	「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。	積極的に敬語のはたらきについて理解し、学習の見通しをもって用途に合わせた文書を書こうとしている。
夢を跳ぶ	3	●自分の課題に応じて資料を探し、さまざまな情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって考えたことをレポートにまとめようとしている。
言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉 言葉(解説)2 話し言葉と書き言葉	1	●話し言葉と書き言葉の、それぞれの特徴を捉える。	話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。		粘り強く話し言葉や書き言葉の特徴について理解し、学習課題にそって話や文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
観点を明確にして伝える	3	●集めた情報を整理して関係を理解し、適切に活用して課題を解決する。 ●図表やグラフ、写真などを用いて、聞き手にわかりやすく伝える。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を効果的に用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している	積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって説明しようとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

SNSから自由になるために／脚本で動きを説明する	2	●小説と脚本を構成する情報を整理し、それぞれの効果について考える。 ●小説と脚本の違いを理解し、小説を脚本に書きかえる。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。	すすんで文章を比較するなどし、学習の見通しをもって脚本を創作しようとしている。
行書で書こう 点画の省略「初志」	2	●点画の省略「初志」点画の省略を理解して書くことができる。	点画の省略を理解している。点画の省略を理解して書いている。点画の省略を理解し、字形を整えて書くことを把握している。点画の変化を理解して、字形を整えて書いている。	点画の省略の書き方を確かめ、自己の課題を考えている。行書の筆使いの中から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	点画の省略の書き方について、課題意識をもって取り組んでいる。点画の省略の書き方から自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
漢字の広場2 漢字の成り立ち	1	●漢字の成り立ちについての理解を深める。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

持続可能な未来を創るために——不平等のない社会を考える／「ここにいる」を言う意味	3	●持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって議論しようとしている。
紙の建築	5	●事例の役割や効果を確認しながら読む。 ●事例と主張を関連づけて読み、筆者の行動とそれを支える考え方を捉える。 ●筆者の考えを踏まえ、社会との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。		すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって説明しようとしている。
行書で書こう	2	筆順の変化「深緑」 筆順の変化を理解して書くことができる。	●筆順の変化を理解している。 筆順の変化を理解して書いている。 【A】筆順の変化を理解し、字形を整えて書くことを把握している。 筆順の変化を理解して、字形を整えて書いている。	【B】筆順の変化の書き方を確かめ、自己の課題を考えている。 【A】行書の筆使いの中から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】筆順の変化の書き方について、課題意識をもって取り組んでいる。 【A】筆順の変化の書き方から、自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

行書で書こう 学習を生かして書くー行書の特徴ー	2	これまでに学習してきた行書の特徴を理解して書くことができる。	【B】これまでに学習した行書の特徴について理解している。これまでに学習した行書の特徴について、自己の課題を理解して書いている。 【A】行書の特徴を知り、点画の変化、連続、省略、筆順の変化を理解し、字形を整えて書くことを把握している。 行書の特徴を知り、点画の	【B】これまでに学習した行書の特徴から、自己の課題を考えている。 【A】行書学習のまとめとして自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】これまでに学習した行書の書き方に習熟し、配列よく書こうとしている。 【A】行書学習のまとめとして、行書の特徴の中から自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
根拠をもとに意見文を書く	5	●多様な考え方がある問題について根拠をもとに推論して考える。 ●考えの理由づけを示して意見文を書く。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。
文法の小窓2 活用のある自立語 文法(解説)2 活用のある自立語	2	●用言の活用と種類・用法を理解する。	単語の活用について理解を深めている。		粘り強く自立語の活用について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
敦盛の最期	4	●登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。 ●文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。	歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。	すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことを話し合いの場で発言している。
随筆の味わい	3	●古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。 ●言葉の意味を正確に捉えながら読み、作者の思いを想像する。	現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み理解したことや考えたことを説明しようとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

二千五百年前からのメッセージ	3	●表現を確かめながら、内容について自分の考えをまとめる。 ●文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	粘り強く現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって解釈したことを表現しようとしている。
行書と仮名を調和させて書いてみよう 「いろは歌」	1	2 行書に調和する仮名「いろは歌」 行書に調和する仮名の筆使い、字形を理解して書くことができる。 「いろは歌」や五十音表について理解することができる。	【B】行書に調和する仮名の筆使い、字形を理解している。行書に調和する仮名の筆使い、字形を習得しようとしている。 【A】行書に調和する仮名の筆使いを理解し、字形を整えて書くことを把握している。 行書に調和する仮名の書き方を習得して、字形を整えて書いている。	【B】行書に調和する仮名の筆使い、字形について考えている。 【A】行書に調和する仮名の筆使い、字形の特徴について、適切に判断している。	【B】行書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。 【A】自己の課題を設定し、その解決に向けて取り組んでいる。
行書と仮名を調和させて書いてみよう		●文字の大きさと配列 文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列を理解している。 紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列を理解して書いている。 紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列に注意し、調和よく書くことを理解している。 紙面全体の調和を考えて、文	紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列を考えている。 紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列を意識している。	紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列について、自己の課題を見つけようとしている。 紙面全体の調和を考えて、行書と仮名の調和の書き方における自己の課題を設定し、その解決に向けて取り組んでいる。
坊っちゃん	2	●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	すすんで内容を解釈し、複数の情報を整理しながら考えたことを提案しようとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

短歌の味わい	2	●情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	すすんで内容を味わい、今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。
夏の葬列	6	●人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解する。 ●時間の順序に留意し、人物の心情の変化や言動の意味について考え、作品を解釈する。 ●作品の構成や展開、表現の効果について考えを深める。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。「読むこと」において、文章の構成や論理の展開(時間の流れと場面の展開)、表現の効果について考えている。	粘り強く時間の流れや場面の展開などの構造を捉え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。
映像作品の表現を考える	1	●絵コンテを構成する情報を整理し、それぞれの効果について考える。 ●漫画と絵コンテの描写の違いを理解する。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。	積極的に映像作品の表現の特徴について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。
漢字の広場3 漢字の多義性	1	●漢字の多義性についての理解を深める。	多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		すすんで漢字の多義性について理解し、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

ガイアの知性	5	●筆者が用いる語句の意味を捉える。 ●筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。 ●自然や知性に対する筆者の考え方について、自分のもつ知識や経験と結びつけ、考えをまとめる。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで主張と例示の関係について考え、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
記事を書く	5	●情報がわかりやすく伝わるように、文章や見せ方を工夫する。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。	積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。
相違点を明確にして聞く	3	●論理の展開などに注意しながら聞く。 ●話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら、自分の考えをまとめる。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって対話しようとしている。
学ぶ力	4	●筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。 ●本文の「述べ方」や表現の工夫に着目し、筆者の主張を捉える。 ●本文から捉えたことや考えたことを自分の知識や経験と関連づけ、考えを広げたり深めたりする。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	今までの学習を生かして文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

よりよい結論を導く討論をする	4	●結論を導くために、相手の立場に立って推論しながら、意見を述べる。 ●互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。	積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
文法の小窓3 付属語のいろいろ 文法(解説)3 付属語のいろいろ	2	●付属語にはどのようなものがあるのかを知る。	助詞や助動詞などのはたらきについて理解を深めている。		助詞・助動詞に興味・関心を抱き、助詞・助動詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。
豚	1	●詩の構成や展開を踏まえ、詩の世界を豊かに想像する。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。
書初め	3	●書き初めを書く「生命の尊重」「伝統の継承」 行書の特徴や配列を理解して書くことができる。	行書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。 行書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。 筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して、調和よく書くことを把握している。行書と仮名の筆使いや字形を理解して、配列を整えて書いている。	紙面に対する行書と仮名の調和のさせ方を考えている。 紙面に対する行書と仮名の調和のさせ方を的確に捉えている。	行書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。 自己の課題を設定し、その解決に向けて取り組んでいる。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

走れメロス	7	●抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。 ●人称の変化に着目し、人物の心情や言動の変化を表すうえでの役割や効果を捉える。 ●登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。
行書と仮名を調和させて書いてみよう	1	●書く速さを意識して書く一行書と仮名の調和『走れメロス』 行書と行書に調和する仮名の書き方を理解して、速く書くことを意識することができる。	行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し、速く書くことを理解している。 行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し、速く書いている。 行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し、速く書くことを理解し、調和よく書くことを把握している。行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し、字形を整えて速く書いている。	行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し、速く書くことを考えている。 紙面全体の調和を考えて、文字の大きさ、行の中心、余白の取り方などを意識している。	行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得しようとし、速く書くことを意識している。 行書と行書に調和する仮名の筆使いにおける自己の課題を設定し、解決を図ろうとしている。
行書と仮名を調和させて書いてみよう	2	●学習を生かして書く一行書と仮名の調和と配列『枕草子』『平家物語』 行書と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。	行書と仮名の調和や配列を理解している。行書と仮名の調和や配列を理解して書いている。 行書と仮名の調和や配列を理解し、調和よく書くことを把握している。 行書と仮名の調和と配列を理解して、字形を整えて書いている。	行書と仮名の調和や配列を考えている。 行書と仮名の調和や配列を考え、適切に捉えている。	国語の古典での書写活動に興味・関心をもって取り組んでいる。 国語の古典における文章について、形式を整えて書こうとしている。
言葉の小窓3 類義語・対義語・多義語・同音語 言葉(解説)3 類義語・対義語・多義語・同音語	1	●日常の生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉え直す。	類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		粘り強く類義語・対義語・多義語・同音語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

学習活動や日常生活に生かして書こう	1	1 さまざまな書く場面 目的や必要に応じた書き方をするにはどのような点に注意するとよいか、話し合うことができる。	【B】目的や必要に応じて楷書や行書を選ぶことや、配列の整え方について理解している。 【A】目的や必要に応じて楷書や行書を選ぶことや、配列の整え方について、よく理解している。	【B】目的や必要に応じた形式や用具について考えている。 【A】目的や必要に応じた形式や用具について、日常生活との関連を話し合うことができる。	【B】目的や必要に応じた書き方について、自己の課題をもって取り組んでいる。 【A】目的や必要に応じた書き方について、自己の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。
「連作ショートショート」を書く	5	●表現したい内容に合った言葉を選び、語彙を豊かにする。 ●物語の構成や展開を意識して書き、表現の工夫や効果について考える。	類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	積極的に表現の効果を考え、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
漢字の広場4 同音の漢字	1	●同音の漢字についての理解を深める。	同音異義語などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		すすんで同音の漢字について理解を深め、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
学習活動や日常生活に生かして書こう	2	●新聞・掲示物・案内状を書く文字の大きさや配列を理解して、読みやすく書くことができる。 目的や必要に応じて、効果的に伝える工夫の仕方を理解することができる。	さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について理解している。 さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について理解して書いている。 さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列、字形を整えて読みやすく書くことを把握している。さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について理解して、字形を整えて読みやすく書いている。	さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について考えている。 目的に応じたさまざまな形式や用具を考え、日常生活との関連を意識している。	さまざまな形式に合わせた配列を考え、漢字と仮名の調和に習熟しようとしている。 目的に応じたさまざまな書式を考え、読みやすく書こうとしている。

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
春に	1	●言葉の中の春を読む。 □	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
立ってくる春	3	●文章の種類を踏まえ、その展開の仕方に着目して、筆者の個性的な考えを捉える。	○文章の種類とその特徴について理解を深めている。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
なぜ物語が必要なのか	3	●文章の種類と特徴について理解を深める。 ●知識や経験と結びつけて文章を読み、内容の評価する。	○文章の種類とその特徴について理解を深めている。	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。	○すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
一言でまとめ一言から広げる	1	●言葉の意味を把握し、具体的なできごとを考える。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	○積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって提案しようとしている。
私	4	●読書が自分と社会との関わりを支えている、ということを理解する。 ●文章を吟味して読み、文章に表れているものの見方や考え方について批評する。 ●作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。	○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。また、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

薔薇のボタン	2	●目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。	○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。
構成を考えて主張をまとめる	3	●社会生活の中から自分で課題を見つけ、主張をまとめる。●自分の立場や意見を明確にし、論理の展開や話の構成を工夫する。	○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。	○すすんで情報の信頼性の確かめ方を理解して使い、学習の見通しをもって主張しようとしている。
メディア・リテラシーはなぜ必要か	2	●新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。●社説を比較して読み、内容の特徴を理解する。	○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。
漢字の広場1 呉音・漢音・唐音	1	●漢字の音の歴史についての理解を深める。	○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。		○粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
文法の小窓1 助詞のはたらき	2	●助詞のはたらきについて理解する。	○助詞のはたらきについて理解している。		○粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。

AIは哲学できるか	5	●「哲学」など、筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ●事例や主張が適切かを考えながら読む。 ●文章の内容について検討したり、吟味したりしながら筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを述べる。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。○文章の種類とその特徴について理解を深めている。○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。	○粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって批評する文章を書こうとしている。
具体例をもとに説明文を書く	5	●具体的な事例をもとに一般的な特徴を導く。 ●読み手に説明するために構成を工夫する。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	○積極的に文章の種類を選択し、学習の見通しをもって発表のための資料を作成しようとしている。
漢字の広場2 熟字訓	1	●熟字訓についての理解を深める。	○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。		○粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
言葉の小窓1 和語・漢語・外来語	1	●和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。		○粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

Async	3	●事例と主張とを関係づけて読む。 ●文章を比べ、評価しながら読む。 ●文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。
問いかける言葉	3	●事例と主張とを関係づけて読む。 ●文章を比べ、評価しながら読む。 ●文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ○「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。	○粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。
説得力のある批評文を書く	5	●資料を比較して、自分の考えを整理する。 ●伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書く。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。	○積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習の見通しをもって批評する文章を書こうとしている。
文法の小窓2 助動詞のはたらき	2	●助動詞のはたらきについて理解する。	○助動詞などのはたらきについて理解している。		○粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
言葉の小窓2 相手に対する配慮と表現	1	●場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。	○敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し、適切に使っている。		○粘り強く相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。
ニュースで情報を編集する	2	●ニュースを構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。 ●ニュースを構成する情報を、目的にそって効果的に使う。	○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○積極的に文章の種類とその特徴について理解し、学習の見通しをもってニュースの形式にまとめようとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

実用文を読む	1	●実用文の特徴を理解し、社会生活の中で生かす。	○文章の種類とその特徴について理解を深めている。○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。	○積極的に論理の展開を捉え、今までの学習を生かして実生活への生かし方を考えようとしている。
旅への思い	4	●情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ●歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。	○歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。 ○長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
和歌の調べ	3	●古人のものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める。 ●和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう。	○歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。 ○長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。	○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
風景と心情	3	●歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ●詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。	○歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
最後の一句	5	●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。	○粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
漢字の広場3 異字同訓	1	●異字同訓についての理解を深める。	○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。		○粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

言葉の小窓3 慣用句・ことわざ	1	●慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。	○慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。		○粘り強く慣用句などについて理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。
俳句の味わい	2	●言葉の意味を掘り起こして読む。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。	○すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
初恋	1	●表現上の工夫に注意して、暗唱する。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○文章の種類とその特徴について理解を深めている。	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 ○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
故郷	7	●理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 ●一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 ●「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 ○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

自己PR文を書く	2	●理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 ●一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 ●「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	○粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって発表のための資料を作成しようとしている。
表現の工夫を評価してスピーチ	2	●読み手を意識して、適切な言葉を選ぶ。 ●読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解する。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	○積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって主張しようとしている。
漢字の広場4 四字熟語	1	●相手や場に適した言葉でスピーチをする。 ●場の状況に応じて、伝わりやすくなるよう表現の工夫をする。	○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語について理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。		○粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
持続可能な未来を創るために	3	●持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 ○「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立松江第四中学校

意見を共有しながら話し合う	2	●相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める。 ●話し合いの進行の仕方を工夫して、合意形成を行う。	○敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し、適切に使っている。 ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。	○積極的に相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
情報をまとめて作品集を作る	4	●自分の文章の収集と整理をする。 ●学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。	○積極的に今までの学習を生かして発表のための資料を作成しようとしている。
バースデイ・ガール	2	●自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
青春の歌	1		○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして批評しようとしている。
やわらかな想い	1		○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。